

今回は「外国語活動のおもしろさはそのライブ感にある」とおっしゃる千葉県市川市で活躍されている中井さんの実践報告です。

多忙な担任の先生との打合せの時間の工夫やそれぞれの役割についての考察など、担任の先生とチームティーチングを進めていく実践者ならではの見方が感じられます。



中井裕子 さん

市川市立公立小学校外国語活動指導員  
J-SHINE小学校上級指導者

## J-SHINE 通信

2014年12月号

### ■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

民間企業に勤務していた時に、船橋市の広報で英語指導コーディネーター職の募集があり、最初は好きな英語を活かした仕事がしてみたい、子育て中なので小学校の長期休暇に連動して休める仕事がしたいという気持ちで応募し、職を得ました。

ある程度英語ができれば担任の先生と ALT のやりとりを手伝える、と気軽な気持ちでしたが、市の研修の初日で「英語ができる」ことと「英語を教えられること」は全く違うことを思い知らされました。採用された他の人たちは英語指導経験や教員免許のある方が多く、どうしたら英語を教えられるようになるかたずねたところ、アルクの J-SHINE 資格取得の通信講座について教わり、早速受講しました。私の場合、とにかく仕事が先で、やりながらいろいろなことを学びました。J-SHINE の勉強内容はレスンプラン（活動案）の立て方やアクティビティなど、そのまま外国語活動の内容につながるものだったので大変役に立ちました。

その後、市川市で外国語活動指導員という日本人の ALT 職の募集を市のホームページで見つけて応募し、現在は担任の先生とのチームティーチングで外国語活動指導に携わっています。この間に小学校で 200 時間の指導を経験し、上級指導者への申請要件も満たしたので、上級指導者資格も取得しました。

### ■ 現在の活動状況

市川市の外国語活動指導員として、週 3 日市内の公立小学校 3 校で 5・6 年生を中心に外国語活動を指導しています。

外国語活動は担任の先生とのチームティーチングで進めています。担任の先生は多忙で、基本的な活動案は私が準備しています。なかなか打ち合わせの時間がとれないので、活動開始直前や活動中に児童が机を移動させたり作業したりしているときなどに、合間を見てさっと内容を伝えます。担任の先生は具体的には、最初と最後のあいさつや活動のまとめ、子どもの指名やデモンストレーション、ゲームの審判やリーダーをしています。子どものことを一番よくご存じなので盛り上げ方も上手ですし、担任の先生がおっしゃることなら子どもも納得するので、クラスコントロールには欠かせない存在です。同じ活動案を準備しても、クラスごとに細かいところのアレンジはクラス担任の先生によって異なるので、私もとても勉強になります。

担任の先生とのチームティーチングで私が心がけていることは、「子どもの笑顔そして担任の先生の笑顔」です。担任の先生の支援者として、準備などできるだけ自分が代われるところは自分が行き、先生には活動部分でできるだけたくさん入って指導していただく。私の英語と担任の先生のコントロールと、お互いの得意なところを出せるように、担任の先生にも「楽しい」と思ってもらえるような活動案を準備するよう努めています。子どもたちは、担任の先生が「英語が苦手な活動がづらい。」という気持ちを敏感に察します。担任の先生が楽しそうだと安心して活動に入ってもらえるようです。また、担任の先生が JTE に対して遠慮せずに「こうしたい。」「うちのクラスはこうするとよい。」と言えるような雰囲気があるとよいと思います。

子ども達には、「これだけは」という目標を立てて、それ以上は子どもたちの実情に任せています。（例えば、12 か月の単元では、「自分の誕生月が言える」のは全員の目標ですが、他の月や日付、ばらばらでも月が言える・聞けるなどはその子に応じて、ということです。）

外国語活動の面白さはそのライブ感にあります。子どもたちは大人と違って反応がストレートなので、つまらないと本当に厳しいですし、面白いと素直に楽しんでくれます。自分がエンターテイナーになった気分です。そして、自分が子供たちの将来のために少しでも役に立っているのかな、良いことをしているのかなと感じられる仕事であることがやりがいにつながるのではないのでしょうか。

### ■ 今後の展望、課題、目標

今の目標はトレーナーになることです。

自分の経験をこれから外国語活動の指導を目指す先生に伝えていけたらいいな、と思います。

これから上級指導者資格を目指す方々へは、有償無償にかかわらず、まずは英語指導にかかわってほしいと思います。

市町村の新年度の募集は 2 月に行われることが多いです。その時期は市町村のホームページなどで情報をチェックしてみてください。たとえその募集ですぐ採用にならなくても、登録されていれば、欠員補充の形で年度の途中から働くチャンスもあります。